

淀川区の10年間火災分析について（平成26年から令和5年）

1 はじめに

（1）淀川区の概要

淀川区の平成26年から令和5年までの10年間の火災分析を行うにあたり、大阪市内における淀川区の人口等の規模を紹介する。

大阪市計画調整局発表の「大阪市の推計人口」（令和5年1月1日現在）において、淀川区は次のとおり人口・面積・世帯数いずれも市内24区の上位にあり、人口密度も市内平均を超えるなど住民の密集度も高い行政区である。

なお、令和6年4月1日現在の「大阪市の推計人口」では、人口186,419人で市内1位（2位：平野区185,517人）、世帯数109,987世帯（2位：東淀川区102,634世帯）で、人口・世帯数ともに市内1位となっている。

【大阪市計画調整局 大阪市の推計人口（令和5年1月1日現在）】

	淀川区	大阪市	市内での淀川区の順位
人口(人)	184,408	2,757,289	市内に占める割合 6.7% 市内2位（1位 平野区 187,884人）
面積(k㎡)	12.64	225.33	市内に占める割合 5.6% 市内6位（1位 住之江区 20.68 k㎡）
人口密度 (人/k㎡)	14,589	12,237	市内11位（1位 西区 20,888人/k㎡）
世帯数	106,760	1,508,140	市内1位

J R・大阪メトロ新大阪駅、阪急電鉄十三駅、大阪メトロ西中島南方駅などを中心に事業所や物販・飲食店舗が多く立ち並び、昼間人口も多い賑やかな地域である。

他にも、新大阪駅周辺地域は内閣府により令和4年10月に都市再生緊急整備地域に指定され、20年先・30年先を見据えたまちづくりが進められるなど、将来的にも発展を続ける行政区であるといえる。

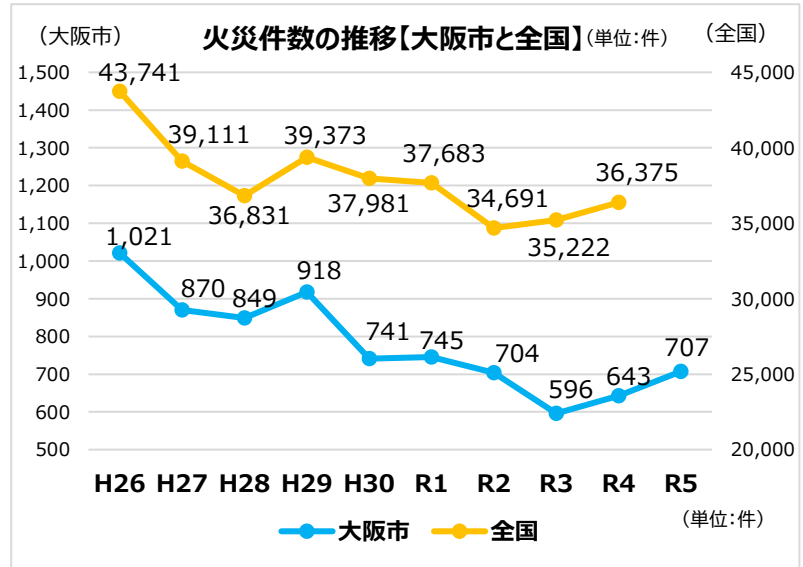
2 火災件数の推移

(1) 全国と大阪市との比較

大阪市の過去10年間の火災件数の推移をみると減少傾向にあるが、令和3年を境に増加しており、令和2年と同程度の件数となっている。

一方、全国の火災件数の推移も同様に減少傾向にみられるが、令和2年を境に緩やかに増加している。

	大阪市	全国
H26	1,021	43,741
H27	870	39,111
H28	849	36,831
H29	918	39,373
H30	741	37,981
R1	745	37,683
R2	704	34,691
R3	596	35,222
R4	643	36,375
R5	707	※

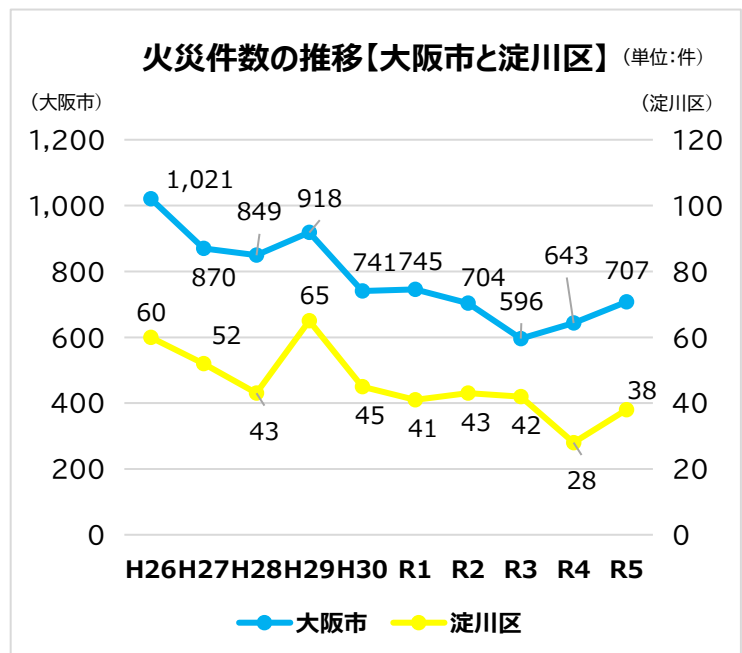


※令和5年 全国の統計値(件数)は未確定

(2) 淀川区の火災件数の推移

大阪市及び淀川区における火災発生件数は、ともに過去10年間で減少傾向にあるが令和5年は両者とも前年より増加し、淀川区では10件(前年比0.3%)増加した。

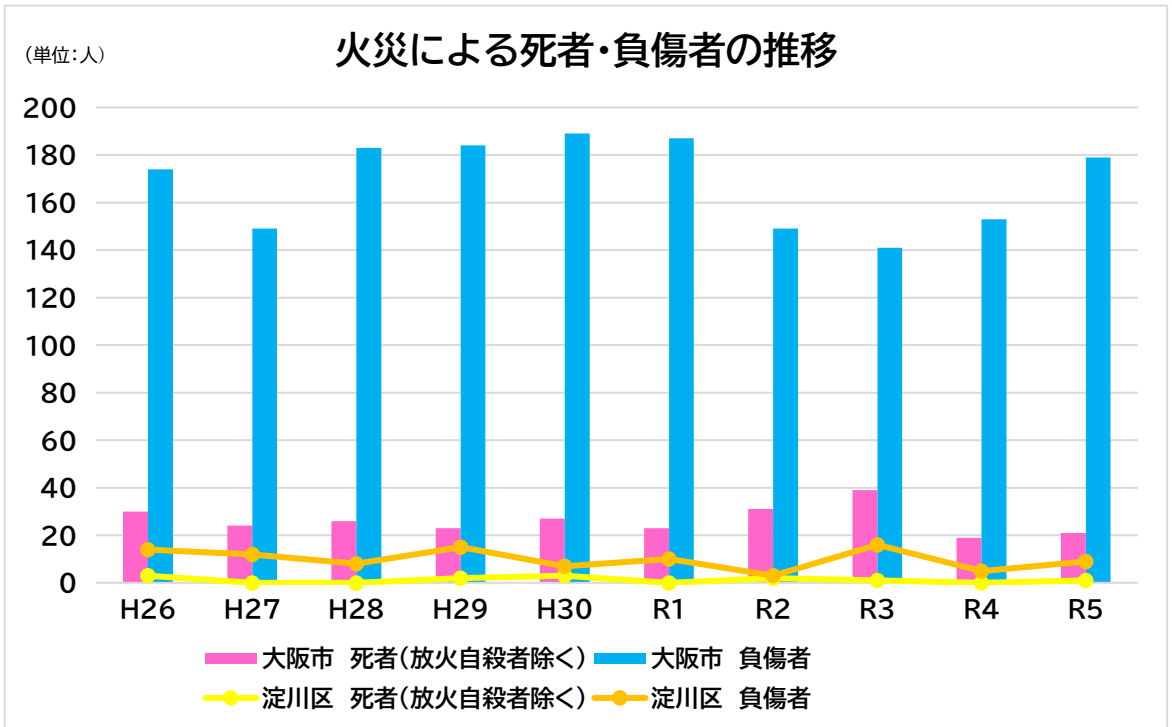
	大阪市	淀川区	市内に占める割合
H26	1,021	60	5.9%
H27	870	52	6.0%
H28	849	43	5.1%
H29	918	65	7.1%
H30	741	45	6.1%
R1	745	41	5.5%
R2	704	43	6.1%
R3	596	42	7.0%
R4	643	28	4.4%
R5	707	38	5.4%



3 火災による死者・負傷者の推移

大阪市、淀川区ともに火災件数が大きく減少している一方で、火災による死者数、負傷者数ともに、あまり大きく減っていない。

	淀川区				大阪市	
	死者 (放火自殺者除く)		負傷者		死者 (放火自殺者除く)	負傷者
	人数	市内に 占める割合	人数	市内に 占める割合		
H26	3	10.0%	14	8.0%	30	174
H27	0	0.0%	12	8.1%	24	149
H28	0	0.0%	8	4.4%	26	183
H29	2	8.7%	15	8.2%	23	184
H30	3	11.1%	7	3.7%	27	189
R1	0	0.0%	10	5.3%	23	187
R2	2	6.5%	3	2.0%	31	149
R3	1	2.6%	16	11.3%	39	141
R4	0	0.0%	5	3.3%	19	153
R5	1	4.8%	9	5.0%	21	179



4 主な出火原因別火災件数の推移

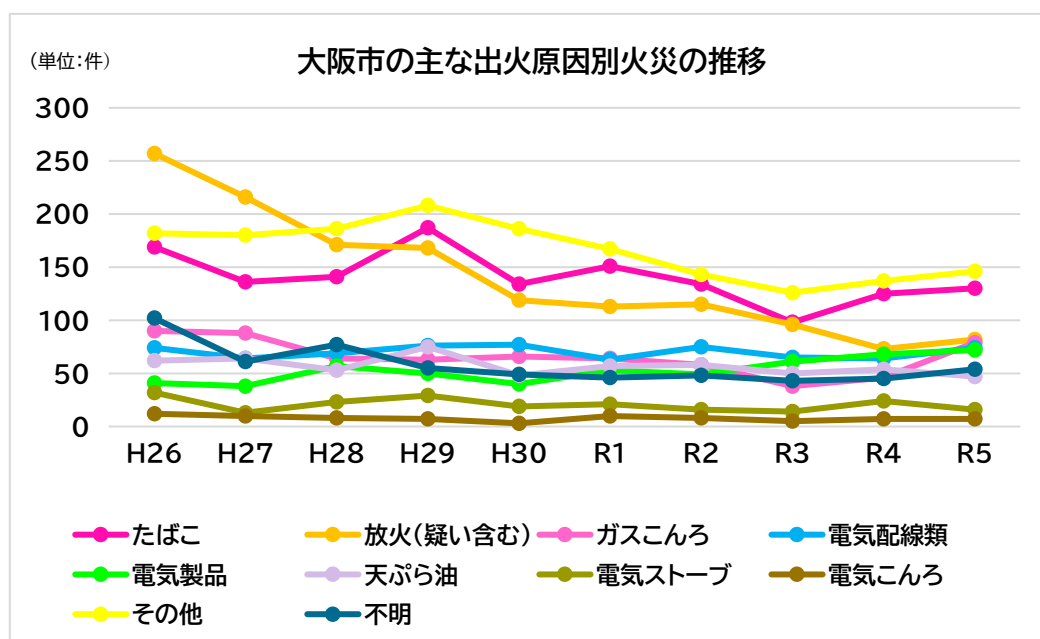
全国的にも電気器具類等を発火源とした火災が増加していることを踏まえ、火災原因のうち電気製品、電気ストーブ、電気こんろの三つに区別して明記する。

(1) 大阪市

大阪市では平成 29 年までは出火原因の一位が「放火」であったが、平成 29 年を境に「たばこ」が出火原因の一位となっている。

出火原因の上位を占める出火原因の 10 年間の推移をみると、特に「放火」の減少幅が特に大きい。また、「たばこ」「放火(疑い含む)」「ガスこんろ」「電気配線類」「電気製品」は、昨年に比べて増加した。

出火原因	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
たばこ	169	136	141	187	134	151	134	98	125	130	1405
放火(疑い含む)	257	216	171	168	119	113	115	96	73	82	1410
ガスこんろ	90	88	64	63	66	64	58	38	46	79	656
電気配線類	74	64	69	76	77	63	75	65	64	74	701
電気製品	41	38	57	50	40	53	49	61	68	72	529
天ぷら油	62	64	53	75	48	57	58	50	54	47	568
電気ストーブ	32	13	23	29	19	21	16	14	24	16	207
電気こんろ	12	10	8	7	3	10	8	5	7	7	77
その他	182	180	186	208	186	167	143	126	137	146	1661
不明	102	61	77	55	49	46	48	43	45	54	580
合計	1021	870	849	918	741	745	704	596	643	707	7794



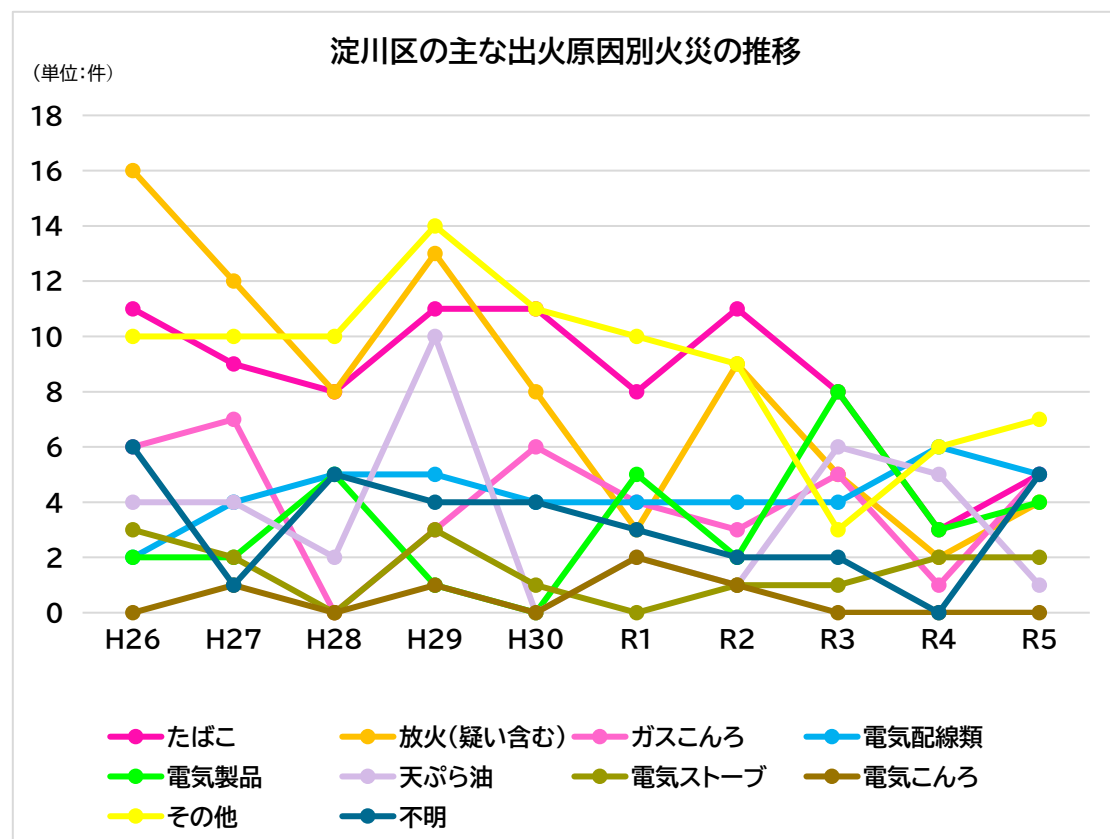
(2) 淀川区

淀川区では、「たばこ」は令和4年に大きく減少したが令和5年に再び増加している。

「放火」は減少傾向にある。「ガスこんろ」及び「電気配線類」について、10年間で大きな変化は見られないが、「電気製品」は増加傾向にある。

また、「天ぷら油」は平成30年から令和2年にかけて大きく減少したが令和3年及び令和4年にかけて再び増加し、令和5年は減少した。

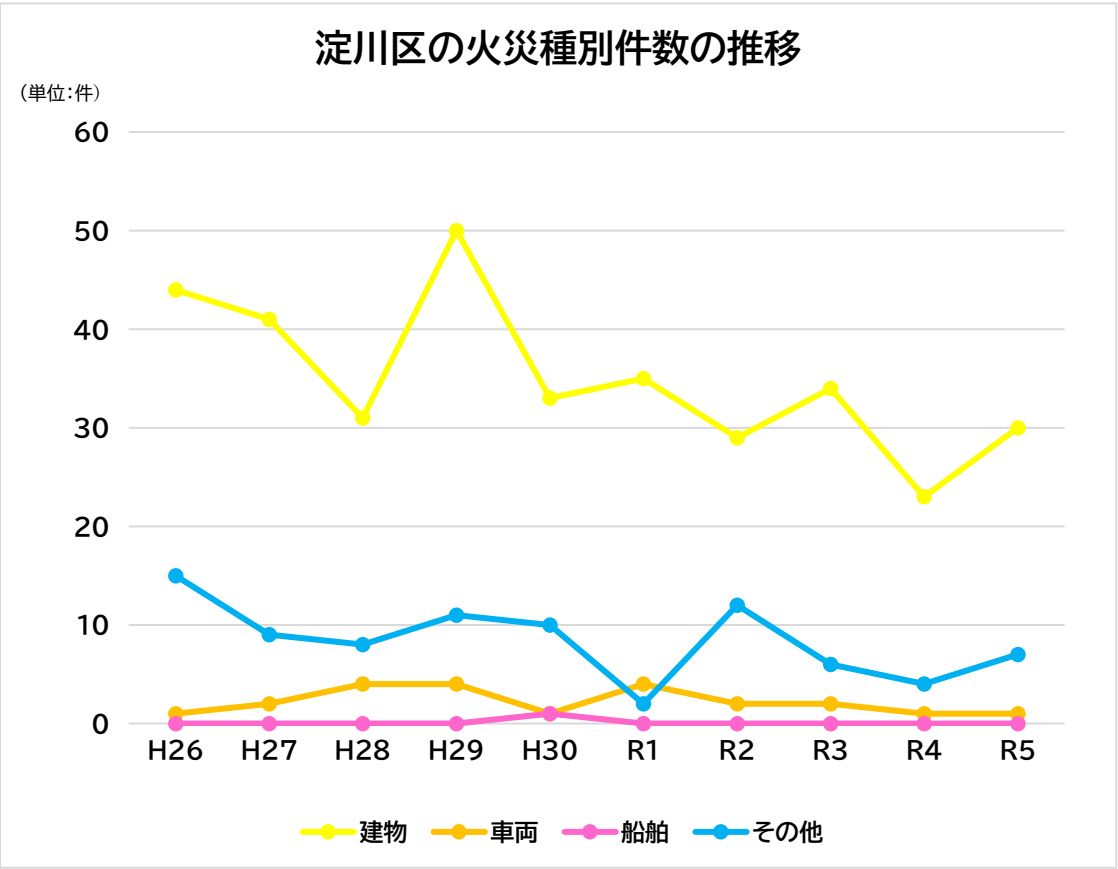
出火原因	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
たばこ	11	9	8	11	11	8	11	8	3	5	85
放火（疑い含む）	16	12	8	13	8	3	9	5	2	4	80
ガスこんろ	6	7	0	3	6	4	3	5	1	5	40
電気配線類	2	4	5	5	4	4	4	4	6	5	43
電気製品	2	2	5	1	0	5	2	8	3	4	32
天ぷら油	4	4	2	10	0	2	1	6	5	1	35
電気ストーブ	3	2	0	3	1	0	1	1	2	2	15
電気こんろ	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	5
その他	10	10	10	14	11	10	9	3	6	7	90
不明	6	1	5	4	4	3	2	2	0	5	32
合計	60	52	43	65	45	41	43	42	28	38	457



5 淀川区の火災種別ごと火災発生件数の推移

淀川区における建物火災件数は 10 年間で減少傾向にあり、令和 5 年の件数は平成 26 年に比べて 55.3%減少している。

	建物 火災	車両 火災	船舶 火災	その他
H26	44	1	0	15
H27	41	2	0	9
H28	31	4	0	8
H29	50	4	0	11
H30	33	1	1	10
R1	35	4	0	2
R2	29	2	0	12
R3	34	2	0	6
R4	23	1	0	4
R5	30	1	0	7
合計	350	22	1	84

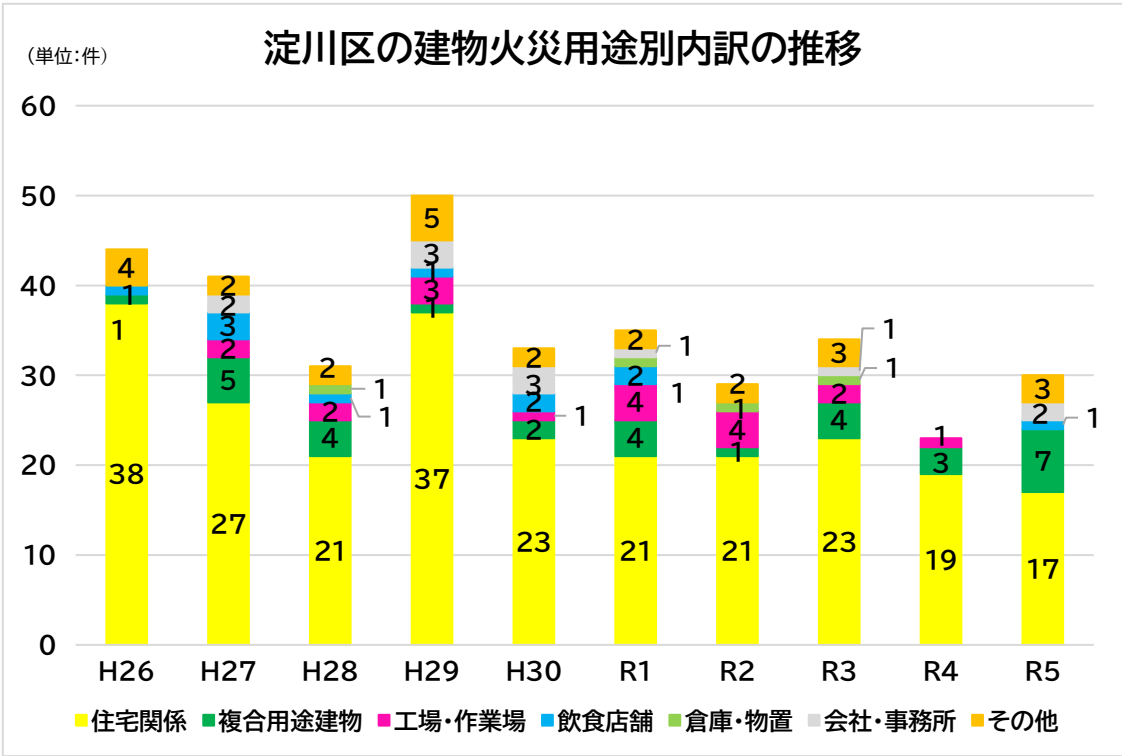


6 淀川区の建物火災の用途別内訳の推移

淀川区で発生した建物火災のうち、用途別内訳をみると住宅関係が多くみられるが減少傾向にあり、令和5年の件数は平成26年に比べ、31.9%減少している。

なお、複合用途建物においては、飲食店舗の用途が41%を占めている。

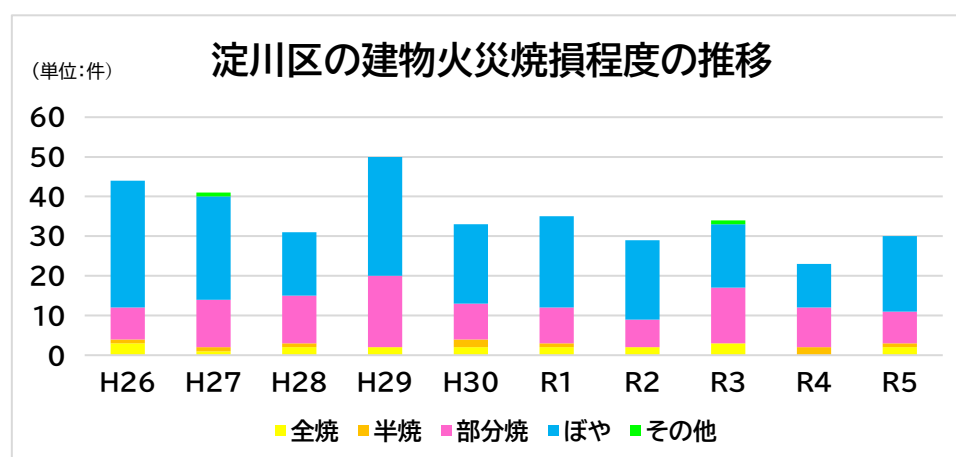
	住宅 関係	複合 用途 建物	工場・ 作業場	飲食 店舗	倉庫・ 物置	会社・ 事務所	その他	計
H26	38	1	0	1	0	0	4	44
H27	27	5	2	3	0	2	2	41
H28	21	4	2	1	1	0	2	31
H29	37	1	3	1	0	3	5	50
H30	23	2	1	2	0	3	2	33
R1	21	4	4	2	1	1	2	35
R2	21	1	4	0	1	0	2	29
R3	23	4	2	0	1	1	3	34
R4	19	3	1	0	0	0	0	23
R5	17	7	0	1	0	2	3	30
合計	247	32	19	11	4	12	25	350



7 淀川区の建物火災焼損程度の推移

淀川区で発生した建物火災のうち、10年全てにおいて「ぼや」が多い。

	全焼	半焼	部分焼	ぼや	その他	計
H26	3	1	8	32	0	44
H27	1	1	12	26	1	41
H28	2	1	12	16	0	31
H29	2	0	18	30	0	50
H30	2	2	9	20	0	33
R1	2	1	9	23	0	35
R2	2	0	7	20	0	29
R3	3	0	14	16	1	34
R4	0	2	10	11	0	23
R5	2	1	8	19	0	30
合計	19	9	107	213	2	350



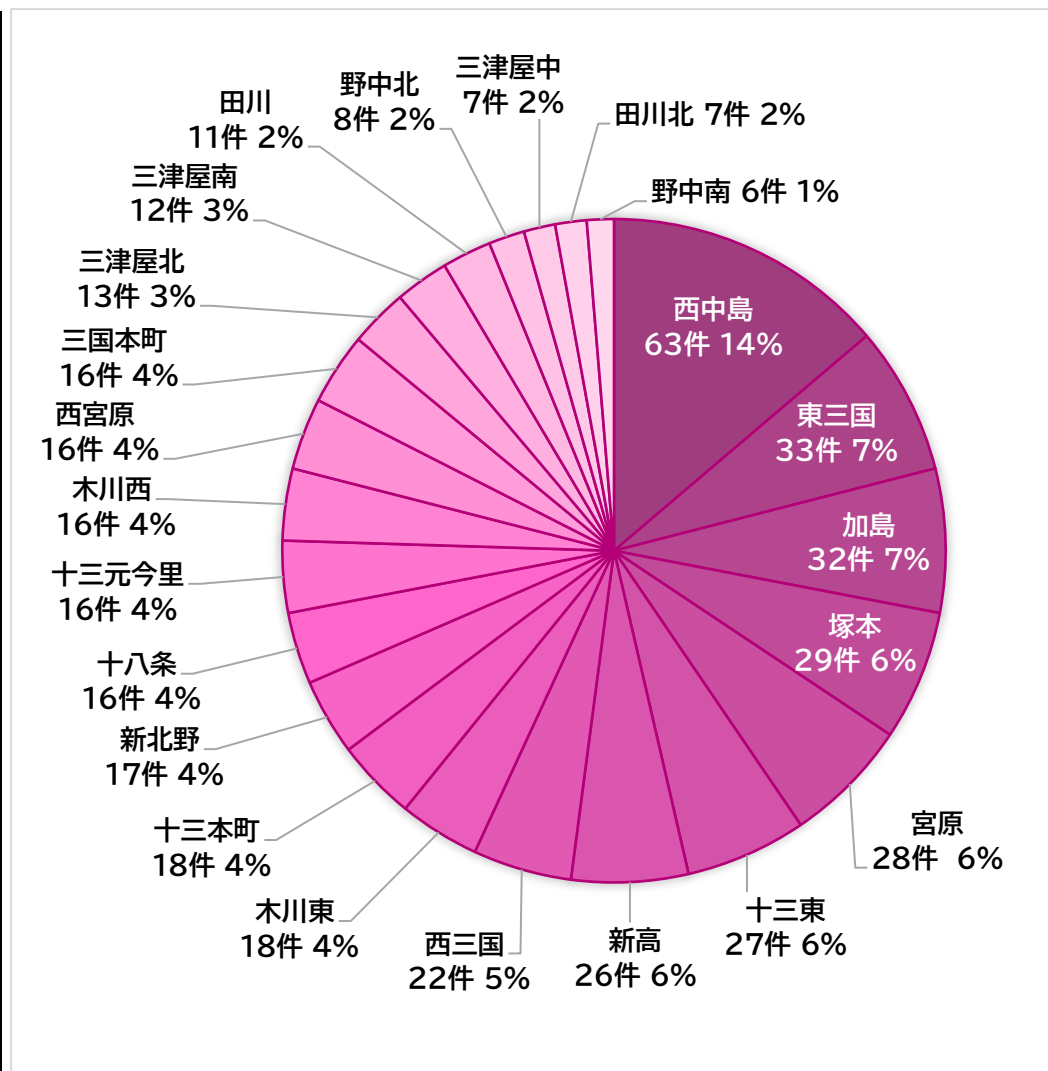
※焼損の程度

- ・全 焼：建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 70%以上のもの、またはこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないもの
- ・半 焼：建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので、「全焼」に該当しないもの
- ・部分焼：建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のもので、「ぼや」に該当しないもの
- ・ぼ や：建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり、焼損床面積 1 m² 未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の評価額の 10%未満のものであり、焼損表面積が 1 m² 未満のもの、または収容物のみ焼損したもの

8 上記以外の淀川区の火災統計

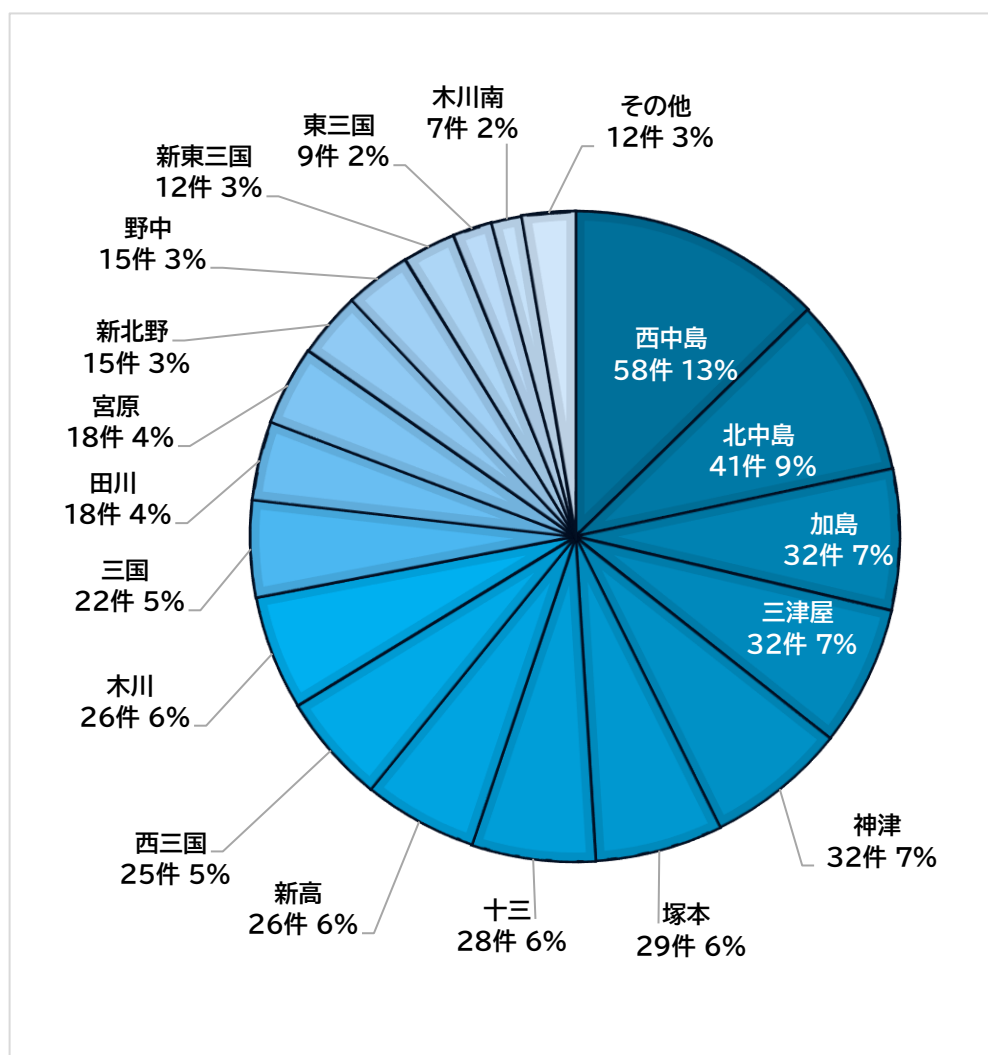
(1) 住所別

住所	件数
西中島	63
東三国	33
加島	32
塚本	29
宮原	28
十三東	27
新高	26
西三国	22
木川東	18
十三本町	18
新北野	17
十八条	16
十三元今里	16
木川西	16
西宮原	16
三国本町	16
三津屋北	13
三津屋南	12
田川	11
野中北	8
三津屋中	7
田川北	7
野中南	6
合計	457

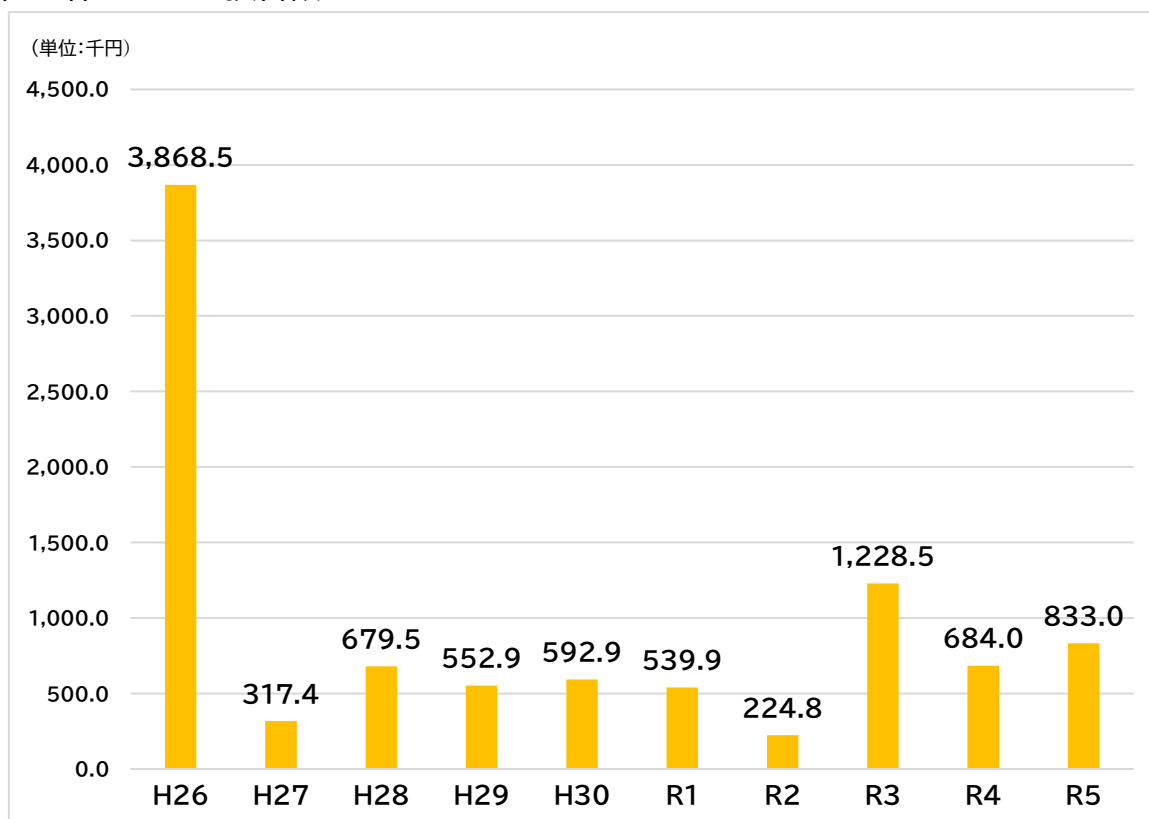


(2) 連合町会別

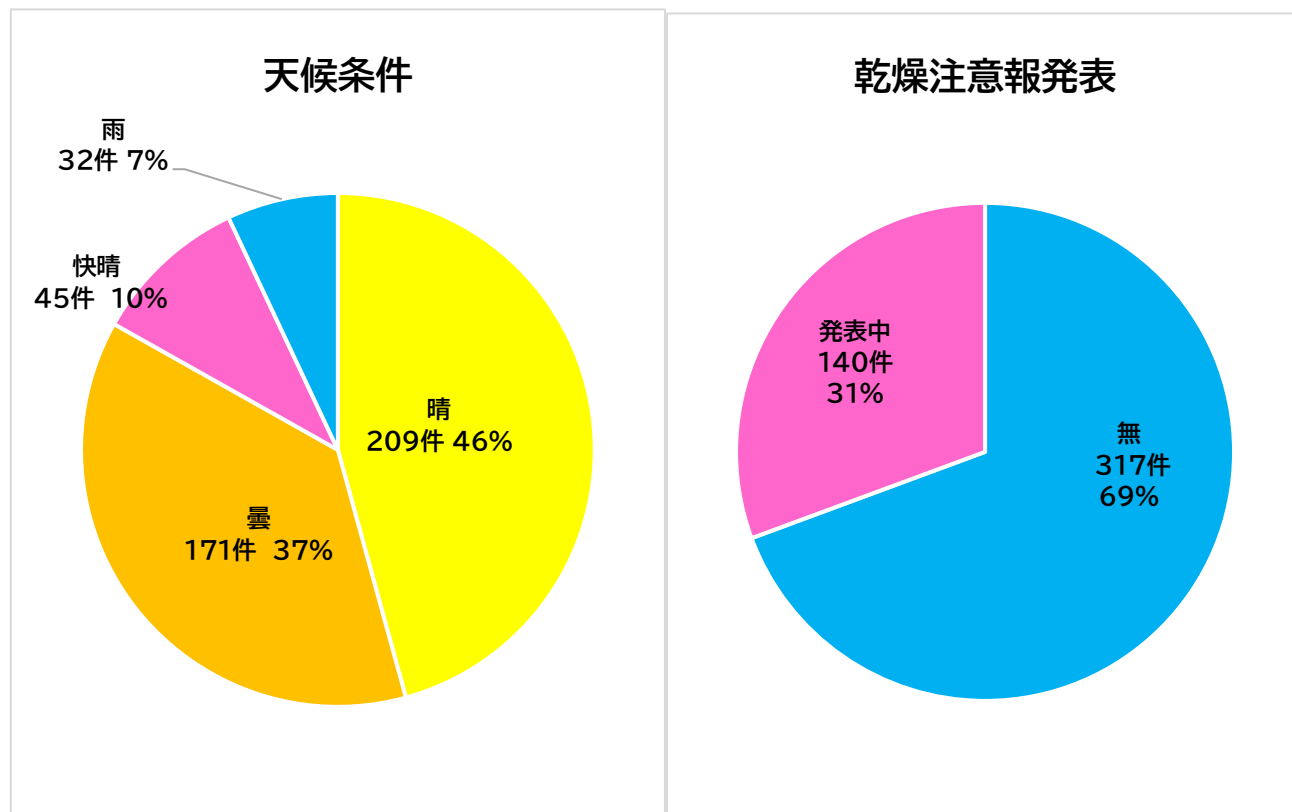
連合 町会名	件数
西中島	58
北中島	41
加島	32
三津屋	32
神津	32
塚本	29
十三	28
新高	26
西三国	25
木川	26
三国	22
田川	18
宮原	18
新北野	15
野中	15
新東三国	12
東三国	9
木川南	7
その他	12
合計	457



(3) 1件あたりの損害額

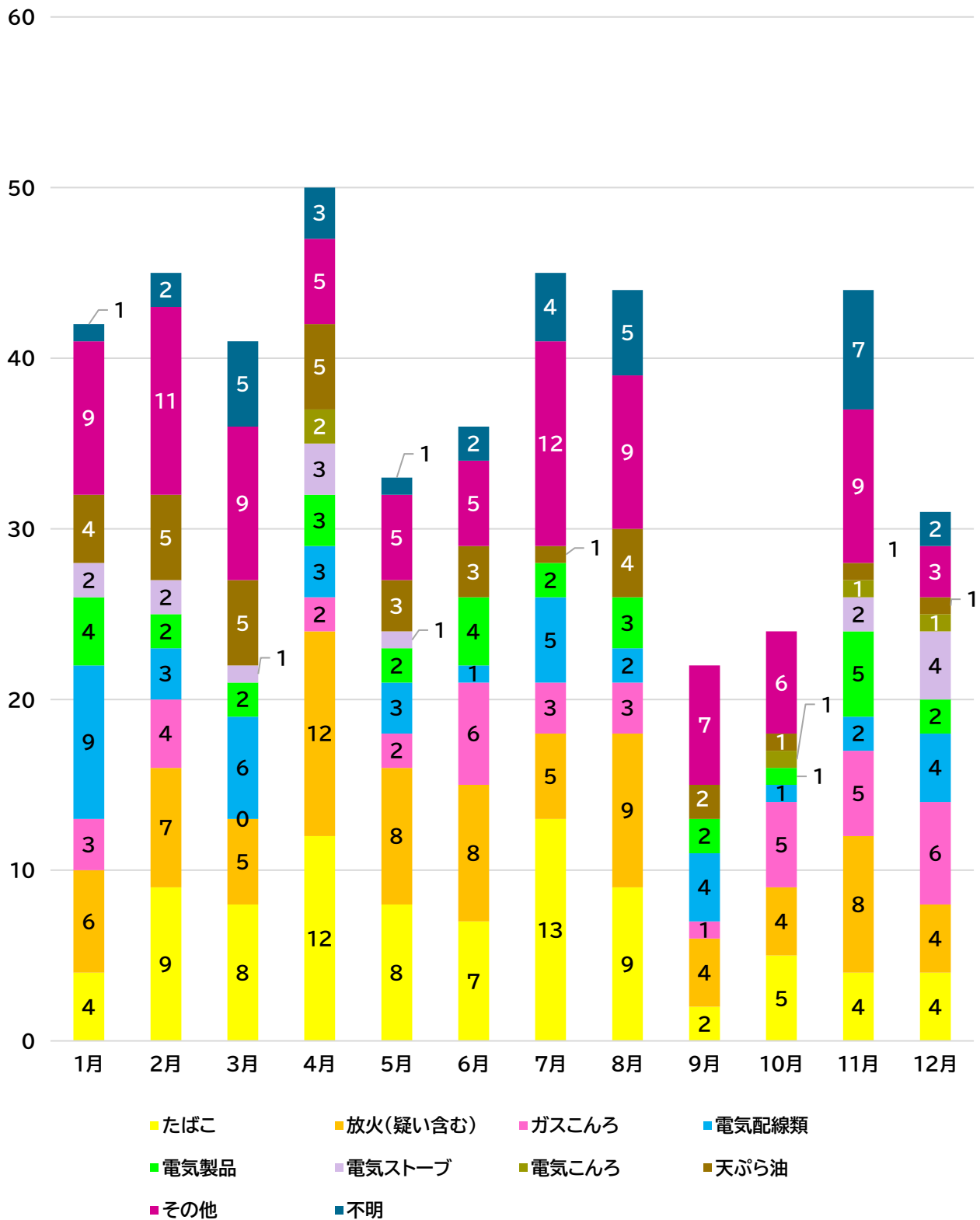


(4) 天候条件・乾燥注意報発表時の火災件数



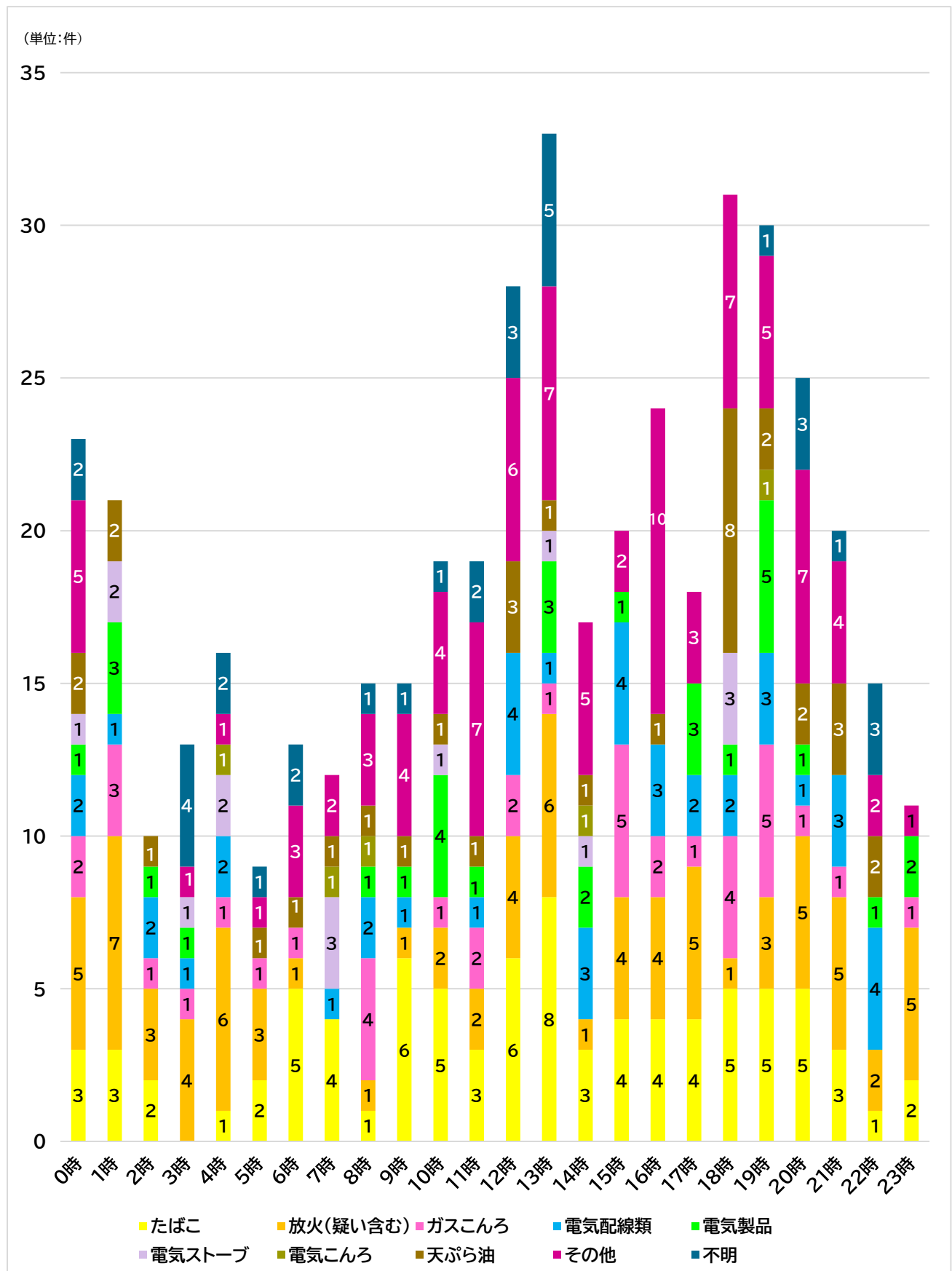
(5) 月別の火災発生件数及び主な火災発生原因

(単位:件)



(6) 覚知時間帯別火災発生件数及び主な火災発生原因

覚知時間とは、消防局や消防署が災害の発生を認知した時をいいます。



火災発生件数及び主な発生原因の覚知時間別の順位（上位3位まで）

	1 位	2 位	3 位
たばこ	13 時 (8 件)	9 時、12 時 (6 件)	6 時、18 時、 19 時、20 時 (5 件)
放火（疑い含む）	1 時 (7 件)	4 時、13 時 (6 件)	17 時、20 時、 21 時、23 時 (5 件)
ガスこんろ	15 時、19 時 (5 件)	8 時、18 時 (4 件)	1 時 (3 件)
電気配線類	12 時、15 時、22 時 (4 件)	14 時、16 時、 19 時、21 時 (3 件)	0 時、2 時、4 時、 8 時、17 時、18 時 (2 件)
電気製品	19 時 (5 件)	10 時 (4 件)	13 時、17 時 (3 件)
電気ストーブ	7 時、18 時 (3 件)	1 時、4 時 (2 件)	0 時、10 時、 13 時、14 時 (1 件)
電気こんろ	4 時、7 時、8 時、 14 時、19 時 (1 件)		
天ぷら油	18 時 (8 件)	12 時、21 時 (3 件)	0 時、1 時、 19 時、20 時、22 時 (2 件)